

## 第 66 回国民体育大会 関東ブロック大会 柔道競技

財団法人 東京都柔道連盟 常務理事 渡辺 軍三

山口国体への出場権をかけた関東ブロック大会が、茨城県行方市麻生運動場体育館で行われた。今回は東日本大震災の影響で、会場を急遽鹿島市から行方市に変更して開催された。

東京都選手団の成績は次のとおり。

### 【成年女子】

Bブロックリーグ戦2試合目での大将畑村選手の負傷による棄権が響き、リーグ3位となった。Aブロック2位の群馬県との代表決定戦にも敗れ、惜しくも本大会出場を逃がした。

### 【少年男子】

今年のインターハイチャンピオン2名と第2位1名を擁する東京チームは強く、Aブロックリーグ戦でいずれも強豪の埼玉県、茨城県、群馬県を連破し、3戦全勝でリーグ1位となり、本国体出場を決定した。本国体での優勝が大いに期待される。

### 【少年女子】

絶対的なポイントゲッターで中堅の田代選手の負傷欠場により、苦戦が予想されたが、田代選手に代わって出場した矢澤選手の活躍とチームの結束で、茨城県、群馬県、栃木県をいずれも3対0で破る完勝で、本国体出場を決定した。特に大将谷村選手はその実力を大いに発揮し、3試合とも圧倒的な一本勝ちを納めた。

この勢いで、本国体でも優勝を目指して頑張ってもらいたい。



